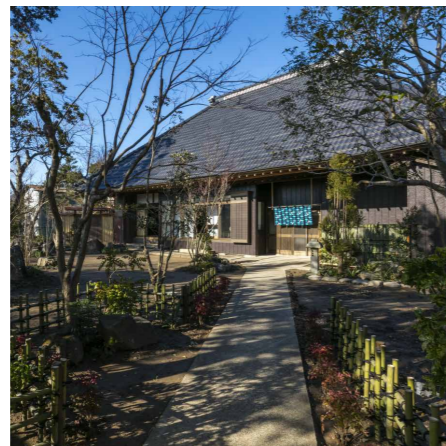


旧家「長竿邸」から
まちの小さな拠点「長竿亭」へ

■旧長竿邸の家主であった長竿さんは、この地域の名主で、いろいろな要職に就かれたほか、昭和3年の天皇即位式の際には茨城県名望家として大礼記念賞を受賞しています。

この建物は、大正時代に建て替えられたもので、土間と田の字の平面構成など日本の伝統的な民家スタイルを良く残しています。空き家となって約10年後に河内町に寄付され、地方創生加速化交付金活用の官民共働事業により平成28年12月、まちの小さな拠点として再生されました。

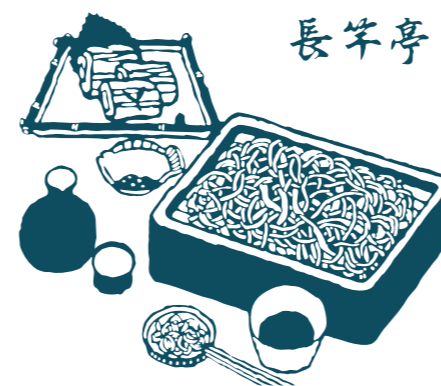


■長竿亭では、昼は、北海道旭川江丹別産の蕎麦粉を使った手打ち蕎麦をお出しします。夜は、店主がその時期の素材を活かした懐石料理をお出しします。
(夜は予約制です)

案内図



茨城県稲敷郡河内町長竿3901番地



営業時間 11:00～14:00
月曜日定休

ご予約・お問い合わせ
電話0297-86-8633



まちの小さな拠点

長竿亭
nagasao-tei



河内町

長竿亭

nagasao-tei



かわちの間



板の間



土間

配置図



かわちの間

「かわちの間」は、パブリックスペースとして、住民の打合せ、お茶会などのイベントに利用できます。(予約制) 利用時間10:00~14:00

和室

落ち着いて食事出来る和室もあります。机下は掘込まれているので足も伸ばせます。

プレゼンモニター

入り口には河内町の風景を映したプレゼンモニターと、長竿地区のまちあるきマップが置かれています。

そば打ちコーナー

店主が毎日蕎麦をここで打ちます。蕎麦打ちの講座も計画中。

特産品コーナー(売店)

河内町産の大豆を使った豆腐や湯葉、その他河内町の産品を販売します

土間

改修前は台所でした。昼は手打ち蕎麦や天ぷらなどをお出しします。

板の間

昼は蕎麦を、夜は主人の任せ懐石を出します。庭を見ながらの食事可。